

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成26年8月21日(2014.8.21)

【公開番号】特開2014-31936(P2014-31936A)

【公開日】平成26年2月20日(2014.2.20)

【年通号数】公開・登録公報2014-009

【出願番号】特願2012-172169(P2012-172169)

【国際特許分類】

F 2 5 D 23/02 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/02 3 0 4 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月4日(2014.7.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明に係る冷蔵庫の扉は、扉外板と内板との間に発泡断熱材と真空断熱材とを備え、真空断熱材が内板の裏面に配設される冷蔵庫の扉において、真空断熱材を内板に貼付ける際の位置決めとなると共に、真空断熱材貼付け後の内板を扉外板に組付ける際の挿入ガイドとなるリブを内板の裏面に設けたものである。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

扉外板と内板との間に発泡断熱材と真空断熱材とを備え、前記真空断熱材が前記内板の裏面に配設される冷蔵庫の扉において、

前記真空断熱材を前記内板に貼付ける際の位置決めとなると共に、真空断熱材貼付け後の内板を前記扉外板に組付ける際の挿入ガイドとなるリブを前記内板の裏面に設けたことを特徴とする冷蔵庫の扉。

【請求項 2】

前記リブは、前記真空断熱材貼付け後の内板の挿入ガイドとなる傾斜したガイドリブを備えたことを特徴とする請求項 1 記載の冷蔵庫の扉。

【請求項 3】

前記リブは、前記真空断熱材の厚さ方向に沿う高さが高い基準側リブと、該基準側リブよりも高さの低い対向側リブとから構成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の冷蔵庫の扉。

【請求項 4】

射出成形の内板の場合は、該内板と前記リブとが一体成形されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の冷蔵庫の扉。

【請求項 5】

真空成形の内板の場合は、別部品にて構成されたリブを前記内板の裏面に取り付けてなることを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の冷蔵庫の扉。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか一項に記載の扉を備えたことを特徴とする冷蔵庫。